

## <食育・地産地消の推進について>

### 【調査の目的】

県では、食の重要性や農林水産業の果たす役割と意義などについて理解を深める「食育」(※1)や、県内の豊かな農林水産物を県民の皆さんに食べていただく「地産地消」(※2)を県民運動として展開しています。食育や地産地消に関する皆さんの御意見をお聞かせいただき、今後の行政施策の参考とさせていただきたいと思っております。

(農林水産部 食の安全・地産地消課)

### ※1 食育とは

心身の健康の増進と豊かな人間形成のために、食に関する知識や食を選択する力を身に付け、健全な食生活を実践することができる人間を育てることです。

その中には、規則正しい食生活や栄養バランスのとれた食事などを実践したり、食を通じたコミュニケーションやマナー、あいさつなどの食に関する基礎を身に付けたり、自然の恵みへの感謝や伝統的な食文化などへの理解を深めたりすることが含まれます。

### ※2 地産地消とは

地域で生産された農林水産物をその地域で消費することです。

## <1> 「食育」について関心がありますか。(N=358 選択は1つのみ)

関心がある	58.1%	208名
どちらかといえば関心がある	36.0%	129名
どちらかといえば関心がない	5.0%	18名
関心がない	0.8%	3名

## <2> 「食育」に関心がある理由は何ですか

(回答は、<1>で「関心がある」「どちらかといえば関心がある」と答えた方 N=337

選択は3つまで 回答件数=988)

子どもの心身の健全な発育のために必要だから	68.5%	231名
食生活の乱れ(栄養バランスの崩れ、不規則な食事等)が問題になっているから	58.2%	196名
生活習慣病(がん、糖尿病等)、肥満ややせすぎが問題になっているから	48.4%	163名
食品の安全・安心の確保が重要だから	37.4%	126名
大量の食べ残しなど食品廃棄物が問題だから	32.6%	110名
自然の恩恵や食に対する感謝の念が薄れているから	16.0%	54名
地域の食文化を守ることが重要だから	15.4%	52名
有機農業など自然環境と調和した食料生産が重要だから	11.0%	37名
消費者と生産者間の交流や信頼が足りないと思うから	3.9%	13名
その他	1.8%	6名

[その他(抜粋)]

- ・食事をしながら人と関わる機会は多いので、マナーやコミュニケーションを学ぶことは重要。
- ・短時間で間に合わせる、レトルトで間に合う、といった風潮がメインなりつつある中で、作物を育て収穫する喜びと調理する楽しみが、食べるという行為には必要不可欠なのではないか。
- ・食べたもので身体はつくられるから。当たり前ではなく、感謝すべきものだから。

< 3 > 「地産地消」について関心がありますか。(N=358 選択は1つのみ)

関心がある	48.0%	172名
どちらかといえば関心がある	43.6%	156名
どちらかといえば関心がない	7.0%	25名
関心がない	1.4%	5名

< 4 > 農林水産物を購入する際に価格以外で重視することは何ですか

(N=358 選択は2つまで 回答件数=705)

新鮮であること	66.2%	237名
国産であること	65.1%	233名
安全・安心であること(有機栽培や減農薬・減化学肥料栽培など)	36.3%	130名
地元産、福岡県産であること	24.0%	86名
銘柄(例:「夢つくし」、「はかた一番どり」など)	4.7%	17名
その他	0.6%	2名

[その他(抜粋)]

- ・九州内のものを選んでいる。

< 5 > 普段の食生活の中で、特にどのようなことに力を入れたいと思いますか

(N=358 選択は3つまで 回答件数=962)

健康に留意した食生活を実践したい	66.8%	239名
食品の安全性について理解したい	62.3%	223名
おいしさや楽しさなど食の豊かさを大切にしたい	43.6%	156名
調理方法・保存方法を習得したい	40.2%	144名
地元産、福岡県産を購入したい	38.8%	139名
生産から消費までのプロセスを理解したい	14.5%	52名
その他	2.5%	9名

[その他(抜粋)]

- ・価格と味のバランスが取れているものを選ぶ。
- ・安価で安全な食品を選ぶ。
- ・旬なものを食べる。
- ・1日に摂取する15品以上、なるべく調味料を使わず自然の味を活かしたい。
- ・子どもと一緒に野菜や鶏を育てて、生き物が尊い命であることを伝える。感謝の気持ちを育てる。
- ・身体にいいもの、昔からの日本食を受け継いでいきたい。

< 6 > 県が実施している食育・地産地消の取組みについて、知っているものを選んでください

(N=358 複数回答 回答件数=464)

いずれも知らない	66.8%	239名
「ふくおか地産地消応援の店」認定制度	20.4%	73名
「ふくおか地産地消応援ファミリー」登録制度	15.9%	57名
食育・地産地消月間(11月)	9.2%	33名
ふくおかエコ農産物	8.1%	29名
「ふくおか農林漁業応援団体」登録制度	4.7%	17名
ホームページ「いただきます!福岡のおいしい幸せ」での情報発信	3.4%	12名
Facebook「いただきます!福岡のおいしい幸せ」での情報発信	1.1%	4名

＜7＞食育や地産地消に関する情報をどこで入手していますか

(N=358 選択は2つまで 回答件数=581)

新聞、テレビ、雑誌	64.0%	229名
行政機関（イベントや講座、広報紙、ホームページ、パンフレットなど）	39.4%	141名
インターネット、Facebook（フェイスブック）やTwitter（ツイッター）等のソーシャルメディア	39.1%	140名
学校での教育（小学校、中学校、高校など）	12.8%	46名
その他	7.0%	25名

〔その他（抜粋）〕

- ・道の駅や農産物直売所
- ・スーパーや生協
- ・食事に行く飲食店
- ・保育園、産婦人科
- ・料理教室、通信講座、学習会、図書館
- ・フリーペーパー
- ・生産者と話す

＜8＞食育・地産地消の推進について、これまでの設問以外に意見がありますか

(N=358 選択は1つのみ)

特にない	86.0%	308名
ある	14.0%	50名

〔ある（抜粋）〕

- ・まだ浸透していないので、積極的にPRするべき。
- ・スーパーや小売店での積極的なPR。
- ・子どもからの教育が重要。家庭への働きかけや、学校教育等で食の大切さを学ぶ必要がある。
- ・学校給食は、もっと県産品を取り入れてほしい。
- ・食材がどのように育てられているのか、どんな人達が関わって食卓まできているのかを学ぶ機会があるべき。
- ・ロス食品を減らすため、体を作っている食べ物への敬意を考えていくべき。
- ・食育は、医療費の抑制につながる。
- ・地元の方が、価格が安いものが多い。生産者が明記されており、安心して購入できる。
- ・栄養価に配慮したレシピ、時短レシピなど食材を使う方法の提供、料理教室や食育講演会の実施。
- ・食の安全は重要。ふくおかエコ農産物の取組の充実や、成分表示の徹底。
- ・福岡県産の食材を購入したら、売り上げの一部が、県の農林水産業の発展のために使われる仕組みづくり。



## 買って応援！ 食べて応援 ふくおか農林漁業応援団

福岡県産の美味しい農林水産物を愛用して、福岡の農林水産業をもっと応援しよう！という取組です。

### ふくおか地産地消応援ファミリー

県産の農林水産物を積極的に購入して、福岡の農林水産業を応援するご家庭です。  
応援ファミリーを対象に、野菜・果物の植付けや収穫、椎茸の駒打ち等の林業、酪農、漁業等を実際に体験する「ふくおか農林漁業体験ツアー」を実施しています。

#### 《体験ツアー参加者の声》

- ・現地を訪れて、生産者の顔を見ることによって、より農産物への愛着と安心を感じ、地産地消の大切さを実感しました。
- ・田植えをしたことがなかったので、本当にいい体験でした。子どもがごはんを残したときにこの体験のことを話したら、きっと残さなくなると思います。

登録は  
コチラ！



柿の収穫体験



酪農体験



海苔の手すき体験

### ふくおか地産地消応援の店

年間を通じて、県産の農林水産物を使用する飲食店、惣菜店等です。

HPで  
検索！



### ふくおか農林漁業応援団体

県産農林水産物の消費拡大につながる取組や、農山漁村地域での社会貢献活動を実施する企業・団体です。



農林漁業応援団体の表彰



詳しくは **福岡の美味しい幸せ**

検索

<http://f-ouen.com>

お問合せ先：福岡県農林水産部食の安全・地産地消課 TEL 092-643-3575